

ソウルを読み解く - メディア文化・記憶・空間

日時 2015年11月14日(土) 10:00~17:00

場所 獨協大学 天野貞祐記念館 206号室 (〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1)

主催 獨協大学国際教養学部

入場料 無料(予約不要)

アクセス: 東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通/東武スカイツリーライン「松原団地」駅西口より徒歩5分

問い合わせ先: 獨協大学国際教養学部 048-946-2876

※日本語通訳付

韓流ブームを持ち出すまでもなく、近年日本における韓国への興味は、文化的な領域、特にメディア文化やポピュラー文化と呼ばれるものへ向けられるようになってきた。本シンポジウムでは、韓国の現代文化を理解するために重要な諸問題、とりわけメディア文化や歴史・記憶の立ち現われ方に注目し、韓国・ソウルの諸空間を分析する方法を模索する。

10:00~10:10 学部長挨拶 (古川堅治 獨協大学国際教養学部学部長)

10:10~11:30 Session1 メディア都市ソウル

森類臣 (立命館大学コリア研究センター専任研究員)

「スピードの追及、情報の縮地法 - 韓国ニューメディアの総合フィードバックと加速化」

平田由紀江 (獨協大学国際教養学部 准教授)

「ファン文化と観光空間 - 清潭洞を中心に」

梁仁實 (岩手大学人文社会科学部 准教授)

「文化資本とソウル - ソレマウルを事例に」

討論 羅一等 (東京大学大学院人文社会系研究科 博士課程)

11:30~12:20 ランチタイム

12:20~14:20 Session2 自己と他者のソウル

キム・ジユン (シンガポール工科大学 (SUTD) 研究員)

「「グローバルシティ」ソウルと他者の生産: 梨泰院の事例を中心に」

黄盛彬（立教大学社会学部 教授）

「ソウル市庁前から世宗路：近代ナショナリズムの記憶と他者の影」

イ・テドン（延世大学校政治外交学科 副教授）

「新村、街を学問する：学生、客体から主体へ」

討論 岡村圭子（獨協大学国際教養学部 教授）

14:20～14:40 コーヒーブレイク

14:40～16:40 Session3 記憶の場としてのソウル

イ・ヒョンジョン（シンガポール南洋理工大学 助教授）

「重なりあう感受性のなかの時間旅行：劇的空間としての旧ソウル駅」

ウ・ミソン（延世大学校英語英文学科 副教授）

「DDP（東大門デザインプラザ）を通してみる韓国的モダニティとディアスポラ的情绪」

山中千恵（仁愛大学人間学部 准教授）

「記憶の場としての西大門刑務所」

討論 石田佐恵子（大阪市立大学大学院文学研究科 教授）

16:40～17:00 全体討論